



この大漁まつり

海の幸、鮮魚、活魚 勢揃いで大にぎわい!

4月25日、甲斐城拠点芝生公園付近の駐車場で、この大漁まつりが開かれました。

ブリやアジなどれたて鮮魚がどっさり並べられた大特価市や焼きイカ、焼きホタテ、おろしそばの販売が行われたほか、海の幸いっぱいの大漁鍋の振る舞いには、おいしそうなにおいに食欲をそらされた人たちが長蛇の列をつくっていました。また、普段あまり体験できない活魚のすくい取りは人気を集め、水槽に放たれた活きの良いタイを捕まえた子どもたちは、その重さに驚きながらも必死に網を持ち上げていました。

アワビの稚貝放流

元気に大きく育て

河野地区栽培漁業推進協議会が、4月27日、大きさ約3cmのアワビの稚貝11,000個を放流しました。まず、県栽培漁業センターで生産され、昨年11月から越前町米ノにある中間育成施設で育てられた稚貝の取上げ作業を行いました。雨の降りしきる中、協議会の会員や役員職員らが、飼育用のカゴに付着している稚貝にアルコールを吹きかけ取り易くし、傷つけないよう丁寧にひとつずつはがしていきましました。その後、稚貝を外敵から守るための隠れ家となる大きな貝殻といっしょに、沖合に次々と放流。順調に育てば3〜4年後には、水揚げが可能になるそうです。



河野八双会奉仕活動

河野地区の玄関口に彩りを

5月5日、国道8号新武生トンネル口(河野側)で、河野八双会の会員12人が奉仕活動を行いました。この活動は、国土交通省の「ボランティア・サポートプログラム」およびげんでんふれあい福井財団の助成事業の一環として行われています。

この日は夏を思わせるような好天に恵まれ、南秀次会長と会員らは、草刈りやゴミ拾い、花壇の植栽に汗を流しました。縦4m、横11mの花壇のデザインは、毎年会員らで決めており、サルビアやベゴニアなど、000ポットの花の苗で鮮やかに彩られた花壇は、今年も通行するドライバーの目を楽しませてくれそうです。

町スポーツ少年団結団式

決意新たに...すばらしい団員になります

5月8日、南条小学校体育館で、町内のスポーツ少年団13単位団と指導者、母集団など約230人が一堂に集まり、結団式が行われました。

式では、大塚町スポーツ少年団本部長が「しっかりと体を鍛え、くじけない心を養ってください」とあいさつ、各団に町スポーツ少年団認定証を送りました。また、13単位団を代表して、南条卓球スポーツ少年団の青木主将が「スポーツを通じて、友情と協力と歓びを学び、すばらしい団員になります」と誓いの言葉を述べ、団員らは今年一年の活動に新たな決意を固めていました。

